

第93回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和3年10月19日 (火) 9:25～9:45	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、柿崎環境部長、若藤都市整備部長、天津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、高橋庁舎建設等担当部長、梅原企画政策課長、廣田広報秘書課長、堤新型コロナウイルス感染症対策担当課長、石原健康課長、穂山地域安全係長			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルス感染症について</li> <li>2 ワクチン接種について</li> <li>3 各部連絡事項</li> </ol>			
資料				
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都内の昨日の感染者数は29人。小金井市も10月に入ってから0人の日もあり、感染者数は減少傾向にあり、ワクチンの効果も一因だと思われる。</li> <li>・小金井市のワクチン接種率は、現在1回目83%、2回目79%で、目標としている80%が目前まで来ている。課題となっている若年層の接種率も若干ではあるが向上しつつある。引き続きワクチン接種の啓発等を行っていく。</li> <li>・昨日、医師会とのワクチン連絡会が催された。その中で11月以降のワクチン接種やブースター接種のこと等、方向性を確認させていただいた。ワクチン接種はこれからもしばらくは続く見込み。引き続きご理解とご協力を賜うようお願い申し上げます。</li> <li>・経済政策である2,500円の地域応援券が昨日から各世帯に届いている。7万世帯に発送しており、配達記録のため全世帯に届くにはもう少し時間がかかるが、引き続きお願いしたい。</li> </ul> <p>1 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>(健康課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所より提供されている自宅療養者の情報共有だが、感染者数の減少に伴い日々減しており、10月11日段階では、自宅療養者の人数は0となっている。</li> </ul> <p>2 ワクチン接種について</p> <p>(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況について、市内もかなり落ち着いている状況。海外では次の感染の波が来るまでの間隔が短くなっているため、11月から12月に予想される第6波に備えていく必要がある。</li> </ul>				

- ・ 3回目接種に向けた状況について。現時点で、国からは医療従事者、高齢者、基礎疾患ありといった一部の対象しか示されていないが、今後12歳以上全員が対象となっていく見通し。

昨日の連絡会でも議題に上がったが、モデルナの3回目と職域接種の2点が現在宙に浮いている状態。今後都からも通知がある見通し。

- ・ 市内の3回目の対象者について、12月の対象者が600人弱、1月は3,500人となっている。住所地での接種が原則だが、医療従事者については市民でなくても接種が可能になる見通し。東京都も国に確認中であるため、詳細については今後明らかになっていく見通し。

### 3 各部連絡事項

(総務部長)

- ・ 今季のインフルエンザについて、一部報道では流行が噂されている。互助会でも助成を行っているので、新型コロナとあわせて感染防止に努めていただきたい。

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

- ・ コロナワクチン接種の前後2週間は他のワクチン接種ができないのでご注意を。
- ・ 10代、20代で1回目モデルナを打った方が、希望をすれば2回目ファイザーを打つことが認めるといった通知が10月15日に国から出ている。理由は心筋症のリスクが高いから。他市の取り扱うワクチンや接種状況の兼ね合いから、住民以外の接種も柔軟に検討する必要が見込まれる。

(以上)